

**「保健医療科学」**  
**第70巻 第3号 予告**

**特集：国連の持続可能な開発目標3（SDG3）**

—保健関連指標における日本の達成状況と今後の課題について—（仮題）

SDG3保健指標について（仮題）	（厚生労働省国際課）
日本におけるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の達成状況と課題（仮題）	児玉知子
生涯を通じた健康の確保—高齢化および非感染性疾患について—（仮題）	三浦宏子
母子保健リプロダクティブヘルスの達成状況と課題（仮題）	大澤絵里
感染症—HIV・エイズにおけるモニタリング指標と達成状況—（仮題）	松岡沙織
薬物乱用の予防と治療の現状と指標開発（仮題）	松本俊彦, 嶋根卓也
人体に有害な環境—生活環境と水分野における健康関連指標の課題—（仮題）	戸次加奈江, 浅見真理, 櫻田尚樹
連載：東日本大震災からの10年—国立保健医療科学院からの発信—	
東日本大震災からの10年—災害時の公衆衛生活動体制の変化と課題—（仮題）	奥田博子
原子力事故後の食品の放射線安全確保に向けた対策—10年間のまとめ—（仮題）	山口一郎

**編 集 後 記**

「宇宙食」という言葉は、聞いたことがあると思います。日本人宇宙飛行士が、宇宙で宇宙食を紹介し、食べている映像を見たことがあるのではないのでしょうか。「宇宙食」を作るために「HACCP」という衛生管理手法が生まれました。実によく考えられた衛生管理手法であることから、食品衛生管理に取り入れられるようになりました。

2021年から日本ではHACCPが完全義務化されるようになります。そこで本特集号では、HACCPについて第一線で研究、事業に関わる先生方に執筆をしていただくことになりました。このHACCPというテーマは、本誌の前身である「公衆衛生研究」50巻2号（2001年6月）において1度特集されています。このとき論文を投稿された温泉川先生が、満を持しての編集責任者として帰ってきました。よろしければ、2001年の特集と比較をしながらご一読ください。国立保健医療科学院のホームページで公開しています（<https://www.niph.go.jp/journal/data-50-2-j50-2>）。また、今号の保健医療科学から「東日本大震災から10年」の連載を始めることとなり、初回としてトリチウムに関する論文が掲載されています。

「食品の安全」と「放射線リスク」の考え方について、科学的根拠に基づいた内容となっていますのでお楽しみください。  
（生活環境研究部 稲葉洋平）